
VISUALIZE THE FUTURE



2018年3月期 第2四半期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2017年11月17日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1 2018年3月期 第2四半期 決算説明

2 2018年3月期 通期業績予想

3 今後の成長イメージ

1 2018年3月期 第2四半期 決算説明

2 2018年3月期 通期業績予想

3 今後の成長イメージ

半導体業界

- 2017年の半導体市場規模は前年比19.7%増の4,111億ドルと大幅な伸びを予想(Gartner)
- iPhone新製品及び中国系スマホメーカーからの受注が牽引、メモリー中心に半導体供給が逼迫
- 運転支援システム搭載車種増加に伴い、車載用半導体の引き合いが強まる
- 先端半導体製品の微細化が進む。TSMC、Samsungが2018年から7nm量産を計画

AI / ビジュアル・コンピューティング分野

- スマートフォンやエッジデバイスへのAIアクセレータ搭載が始まる
- 新たなAI関連アプリケーションの登場によりセンサー、AIアクセレータ、ネットワーク向け半導体需要増とともにデータセンターやサーバのアップグレードも促進
- AIが半導体をはじめとする製造現場を変革 (インダストリアル4.0)

IPライセンス、サービス事業の売上大幅増により黒字化達成 LSI製品事業が量産フェーズへ移行

■ IPライセンス事業（前年同期比売上1億600万円増）

- ・ ゲーム機、デジカメ等既存顧客からのランニングロイヤリティーが増加
- ・ 新GPU IPコア「K3000」を新規及び既存顧客へライセンス

■ プロフェッショナルサービス事業（前年同期比売上 1億3,500万円増）

- ・ 自動車機器メーカーからのAI関連中心に受託案件が増加
- ・ NEDO「省電力AIエンジン受託開発」加速のための追加委託を受注

 [詳細12ページ](#)

■ LSI製品事業（前年同期比売上900万円増）

- ・ 次世代画像処理LSI「RS1」の開発終了（最終費用計上）
- ・ 量産受注

AIプロセッサIP「ZIA DV700」の ライセンス開始

- ▶ ディープラーニングの推論処理特化超低消費電力
プロセッサIP



バンダイナムコと共同開発の遊技機向け 次世代グラフィックスプロセッサ「RS1」 サンプル品（ES）出荷開始



国内トップのオートリース会社 住友三井オートサービス(株)提供の ドライブレコーダー AIサービスに「ZIA Classifier」が採用



交通事故の約90%*は脇見運転やながら運転等の
ヒューマンエラー

*住友三井オートサービス(株)調べ

オートリース業界初 動画解析に AI 技術を活用



危険運転に繋がるような特定の
運転挙動（原因）をドライブレコーダーの動画から自動解析し、外カメラの映像（結果）とともに分析・レポートを実行



AI 技術で解析を
効率的に推進



車内の様子を撮影したドライブレコーダーの映像をAIが解析、携帯電話での通話など危険行為を洗い出す



人とクルマを笑顔でつなぐ

住友三井オートサービス

2018年3月期 第2四半期 決算概要（P/L）—前年同期比—

（単位：百万円）

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	前年同期比	
			（金額）	（増減率）
売上高	192	442	250	129.4%
営業利益	△364	18	382	—
経常利益	△376	19	395	—
当期純利益	△366	19	385	—

✓ RS1の開発費が前年同期比100百万円減少

2018年3月期 第2四半期 決算概要（B/S）—前期比—

（単位：百万円）

		2017年 3月末	2017年 9月末	増減額
	流動資産	1,668	1,499	▲169
	固定資産	112	298	186
資産合計		1,780	1,798	18
	流動負債	91	54	▲37
	固定負債	18	18	0
負債合計		110	72	▲38
純資産合計		1,670	1,725	55
負債・純資産合計		1,780	1,798	18

✓ 自己資本比率は95.8%の高水準を維持

1 2018年3月期 第2四半期 決算説明

2 2018年3月期 通期業績予想

3 今後の成長イメージ

既存事業の強化に加え、 AI分野のビジネスに取り組み収益機会の多様化を推進

- 次世代画像処理LSI「RS1」の量産
- AIプロセッサIP「DV700」のライセンス推進
 - ・ カメラ、事務機、FA、自動車など向け
- ZIAプラットフォームにおける製品ラインナップの充実及びパートナー企業とのアライアンスを通じたソリューション提供
- 自動車機器メーカー向けを中心にAI関連プロフェッショナルサービスを加速
- NEDOの省電力AIエンジン受託開発を推進

売上高、営業利益、経常利益に関しては期初予想を維持
販売代理店契約終了による清算金51百万円を特別利益に計上するため、
当期純損失は改善

(単位：百万円)

	2017年3月期 (実績)	2018年3月期 (予想)	前期比	
			(金額)	(増減率)
売上高	694	1,100	406	+58.4%
営業利益	△263	△90	173	—
経常利益	△262	△90	172	—
当期純利益	△365	△39	326	—



省電力AIエンジンと異種エンジン統合クラウドによる 人工知能プラットフォームの開発に着手

契約金額DMP分 (総額) 475百万円 (既存分)
108百万円 (今期追加分)

委 託 期 間 2016年6月～2019年3月まで

プロジェクトの概要

- 人工知能アルゴリズムを従来比10倍以上の処理効率で
実行可能にする**省電力AIエンジンの開発**
- クラウド側で異種エンジンを統合する人工知能
プラットフォームの開発



当社のAIビジネスを加速

1 2018年3月期 第2四半期 決算説明

2 2018年3月期 通期業績予想

3 今後の成長イメージ

付加価値

次の付加価値・成長市場への参入

成長する
IoT分野へ拡大



人工知能・深層学習
分野への拡大

ZIAプラットフォームを中心とした
AI向け製品（SW/HW）の展開

自動車向けを中心としたプロフェッ
ショナルサービス拡大

SoC/モジュールビジネス拡大

- ・ アミューズメントSoCトップシェア
- ・ ハイボリューム エッジAIプロセッサ

勝てる「アミューズメント市場」で
SoCビジネス基盤確立
新製品「RS1」の量産化

成長
市場

フェーズ1

フェーズ2

フェーズ3